

炭酸リチウム錠 100mg、錠 200mg「アメル」の患者向け指導箋

改訂のお知らせ

医療関係者の皆様

2015年6月

 共和薬品工業株式会社

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、患者さまへの情報提供資料として、血清リチウム濃度の定期的な測定の重要性やリチウム中毒の予防等について記載しました患者指導箋「服用される患者さんご家族の方へ」を作成し、適正使用をお願いしてまいりました。

このたび、食事・水分摂取量の不足や脱水状態時のリチウム中毒を防ぐため、「水分の補給」に加え、リチウム排泄に重要な「塩分の補給（たとえばナトリウムを含む飲み物（スポーツドリンク）など）」を行っていただくよう、同資料を一部改訂致しましたのでご案内申し上げます。

本剤をご処方いただく際には、本資料をご活用いただき、患者さま並びにご家族の方々にご説明くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

今回、改訂致しました本資料（裏面に見本を掲載）をご利用される際には、弊社医薬情報担当者までご連絡いただくか、もしくは下記の間合せ先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

謹白

お問合せ先：共和薬品工業株式会社 安全管理部

大阪市淀川区西中島 5-13-9 TEL 06-6308-3388

炭酸リチウム錠 100mg、錠 200mg 「アメル」 の患者指導箋

— 資材見本 —

炭酸リチウム錠「アメル」 を服用される 患者さんご家族の方へ

お薬の効果を十分に発揮させ、
副作用を防ぐために、
注意していただきたいことがあります。



(表紙)

服用中に注意していただきたい症状 について

このお薬は、血液中の濃度が上がりすぎると、次のような症状(リチウム中毒の初期症状)があらわれることがあります。



手足の震え、
動きづらい、
ふらつき



吐き気、嘔吐、
下痢、食欲低下



発熱、発汗



意識がぼんやりする、
眠ってしまう
など

Check!
このような症状があらわれたときは、必ず医師または薬剤師に伝えて、指示に従ってください。

ほかにも、気になる症状やわからないことがありましたら、医師または薬剤師にご相談下さい。

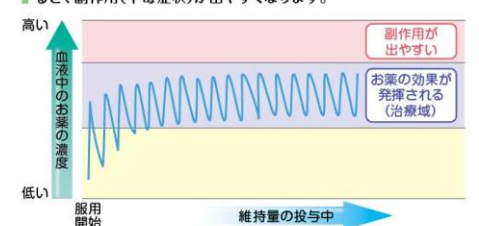


医療機関名・薬局名

(裏面)

安全に服用していただくために

何らかの原因で血液中のお薬の濃度が適切な範囲(治療域)を超えると、副作用(中毒症状)が出やすくなります。



高い
血液中のお薬の濃度
低い

副作用が
出やすい

お薬の効果が
発揮される
(治療域)

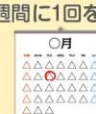
服用
開始

維持量の投与中

十分な効果を発揮し、リチウム中毒の発現を防ぐために、血液中の濃度を定期的に測定し、お薬の量を調整します。


飲みはじめ
または
お薬の量を増やしたとき

1週間に1回をめぐ



お薬の量が
一定になったら

2~3か月に1回をめぐ



Check!
その他にも、副作用が疑われる症状や、体調の変化があらわれたときなど、必要に応じて測定します。

リチウム中毒とは、このお薬の血液中の濃度が上がったときに出現する症状のことをいいます。

(中面)

血液中のお薬の濃度が 上がりやすくなる原因について

食事・水分摂取量不足、脱水状態や他のお薬の影響で、このお薬の血液中の濃度が上がりやすくなる場合があります。服用中は次のことに注意して下さい。



食事や水分が
十分とれない
状態が続いたとき



脱水をおこしやすい
病気にかかったとき
(発熱などを伴う場合)



運動や炎天下の
活動により、過度に
発汗し、水分補給が
不十分だったとき

Check!
このようなときは、リチウム中毒にならないように水分・塩分^{*}を適宜補給するようにして下さい。

*:たとえばナトリウムを含む飲み物(スポーツドリンク)など

痛み止め^{*}、解熱薬^{*}、風邪薬^{*}
などを飲んだとき

*:非ステロイド性消炎鎮痛剤を含む薬



薬局・薬店で販売されている薬も含め、非ステロイド性消炎鎮痛剤という成分が含まれている場合は注意して下さい。

Check!
他の病気で受診するときや、薬局・薬店で上記のお薬を購入するときは、このお薬を飲んでいることを必ず医師または薬剤師に伝えて下さい。

(中面)